

DO-Jet 工法

Double Object-Jet Method

News

No. 3



発行：DO-Jet工法研究会広報部会 <http://www.do-jet-kouhou.com>



就任のご挨拶

植田会長の後任としてこの度、会長に就任しました坂巻でございます。微力ですが本工法の発展のために全力を尽くす所存ですので、よろしくお

願いいたします。DO-Jet 工法研究会は発足以来2年が経ちました。まさに激動ともいえる環境の変化の中、船出して参りました。先行きどうなるのか予測もつかない、そうした不安を感じながらやってきたわけですが、我われ建設技術者の使命は高品質な社会資本の形成に寄与することが原点である、ということをお忘れはならないと考えております。そうした目的を達成するためには、イノベーション、つまり技術の革新や進歩が大きな役割を果たします。DO-Jet 工法はシールドや推進工事での地中障害物の撤去に

おいて、イノベーションたる資格を有する言わば時代を画する技術であります。研究会はこれまで、技術資料、積算資料などを整備してきましたが、まだまだ未熟なところもありますし、技術的な課題も残されています。この工法をどのように活かしていくのかといった面でも、考えなければいけないことがあるかと思えます。そうした状況にあるからこそ、我われ研究会の活動が必要であると考えております。そうした思いを会員の皆さまと共有しながら、本工法の発展普及のための諸活動を推し進めて参りたいと存じます。皆様のご協力のほどよろしくお願ひ申し上げます。

2007年7月4日

DO-Jet 工法研究会
会長 坂巻 明人

坂巻会長のプロフィール

昭和47年4月 東大工学部土木工学科卒業／同年5月 大成建設(株)入社

現大成建設(株)理事 土木本部副本部長兼土木部長／平成19年7月 本研究会会長に就任 現在に至る

DO-Jet 工法研究会 第3回定時総会・懇親会を開催

平成19年7月4日 霞ヶ関ビル東海大学校友会館



定時総会

平成19年7月4日(水)、霞ヶ関ビル33階にある東海大学校友会館において、DO-Jet工法研究会の第3回定時総会と懇親会が開催されました。定時総会では前会長の植田政明氏が議長を務め、平成18年度の活動報告、収支決算、平成19年度の活動計画、収支決算(第1～4号議案)について審議し、それぞれ承認されました。また、第5号議案の役員の改選では、任期満了に伴って新しい役員が選出され、新会長に大成建設の坂巻明人氏が就任しています。



懇親会

総会の後に開かれた懇親会では、坂巻新会長が会員の皆さまに挨拶するとともに(内容は表紙ページに掲載)、来賓として招かれた国土交通省下水道部の津森課長補佐、東京都下水道局の黒住建設部長、東京都下水道サービス(株)の鈴木社長が、それぞれ祝辞を述べました。



DO-Jet定時総会・懇親会 来賓の挨拶



国土交通省都市・地域整備局
下水道部下水道事業課長補佐
津森貴行 様



東京都下水道局
建設部長
黒住光浩 様



東京都下水道サービス株式会社
代表取締役社長
鈴木 宏 様

多様な役割を担う下水道事業を確実に執行していくうえで、技術的なサポートは不可欠です。コスト縮減や事業の効率化といったことがいっそう求められていますが、DO-Jet工法研究会が扱われているシールドあるいは推進工法の技術は、今後も下水道分野において欠かすことのできない重要な役割を果たすと思われます。

東京都は今年度から新しい経営計画をスターさせました。この中で、大きな幹線工事を伴う浸水対策や再構築事業に取り組んでいきます。そうした時、地下障害物対策は避けて通れませんので、DO-Jet工法には大きな期待を寄せています。DO-Jet工法は今、超特殊な工法から特殊な工法へと移りつつある段階、と認識しています。課題を一つひとつ克服しながら、一般的な工法へと近づけていただきたいと思います。

長く下降傾向にあった下水道事業ですが、最近、見直されつつあります。都の経営計画でも、久しぶりに予算が増額に転じています。浸水対策や再構築、合流改善などが重要な課題になりますが、これらを都市部で実施する場合、先行した事業の残痕が地下の至るところにあって障害になっています。DO-Jet工法はまだ開発途上の技術ですが、そうした問題を解決する技術でもあります。ぜひこの工法を皆さまと一緒に開発していきたいと考えています。

「DO-Jet 工法見学会」に会員約 70 名が参加 新宿区住吉町・片町付近再構築工事現場

DO-Jet工法研究会は3月19日に、新宿区住吉町・片町付近の再構築工事を視察する「DO-Jet工法見学会」を開催しました。会員各社からは約70名の参加がありました。本工法はすでに10件の実績（施工中、準備中の案件を含む）を数えますが、これまで会員の方々に現場の状況を直接見学していただく機会がありませんでした。今回、東京都下水道局様のご好意により、新宿区住吉町および片町付近における再構築工事の現場を会員に公開することができました。見学時間は30分程度の短いものでしたが、実現場を通してシールド機からの地盤改良や障害物の切断・除去をはじめ、コスト縮減や工期の短縮、周辺環境への配慮など、DO-Jet工法ならではの特長を実感していただけたことと思います。また当日は、厚生年金会館の会場をお借りして説明会を行うとともに、パネル展示なども実施しました。



超高圧のロータリージョイントと“スイベル”

【新宿区住吉町・片町付近再構築工事の概要】

発注：東京都下水道局（南部建設事務所）
 施工：大日本土木株式会社
 構造物：円形管（特殊泥土圧シールド工法）一次覆工
 マシン外径2,280mm 延長254.1m、
 人孔1ヵ所、立坑1ヵ所
 工期：平成17年11月10日～平成19年8月7日

DO-Jet 工法工事一覧表

（平成19年6月現在）

No.	工事件名	発注者	DO-Jet進捗状況(期間)	工事概要	DO-Jet工法実績および採用理由
1	第二十二社幹線暫定貯留に伴う切替その2工事	東京都下水道局	完工 (H17.4~H18.3)	推進工法 φ1,650 L = 393.3m	切断除去：H鋼-350 3ヶ所 超高圧地盤改良：H鋼-350部地盤補強
2	港区赤坂一丁目・六本木二丁目付近再構築その2工事	東京都下水道局	完工 (H17.3~H17.12)	推進工法 φ1,500 L = 334.8m	切断除去：RC杭、φ400 2本 H鋼-250 2ヶ所 超高圧地盤改良：RC杭、H鋼部地盤補強
3	中央区八重洲一丁目・日本橋三丁目付近再構築その3工事	東京都下水道局	完工 (H17.6~H17.12)	推進工法 φ2,200 L = 157.2m	切断除去：松杭 超高圧地盤改良：首都高速道路横断橋橋台防護
4	群馬用水吾妻川サイホン併設水路工事	独立法人水資源機構	完工 (H17.12~H19.3)	シールド工法 φ2,480 L = 1,270m	超高圧地盤改良：ビット交換地点 2,000mm巨礫層の破碎除去掘進
5	品川区東品川一丁目、北品川二丁目付近再構築その2工事	東京都下水道局	完工 (H18.5~H19.3)	推進工法 φ1,500 L = 314.1m	切断除去：SPⅢ型全面1ヶ所 H鋼-300 4本 超高圧地盤改良：SP全面部、H鋼-300部
6	新宿区住吉町、片町付近再構築工事	東京都下水道局	施工中 (H18.7~)	シールド工法 φ2,280 L = 254.1m	既設下水路全線防護の超高圧地盤改良 既設下水路全線基礎部の松杭切断除去
7	港区西麻布二丁目、南青山二丁目付近再構築工事	東京都下水道局	完工 (H18.8~H19.1)	推進工法 φ1,650 L = 362.5m	超高圧地盤改良：既設下水路防護 切断除去：既設下水路基礎松杭
8	小台幹線工事	東京都下水道局	準備中	シールド工法 φ3,000 L = 208.1m+787.9m	超高圧地盤改良による近接他企業埋設既設施設の沈下抑制
9	港区南青山二、四丁目付近再構築工事	東京都下水道局	準備中	推進工法 φ1,650 L = 355.8m	既設下水路防護の超高圧地盤改良 既設下水路基礎松杭の切断除去
10	新宿区住吉町、片町付近再構築その3工事	東京都下水道局	準備中	シールド工法 φ2,280 L = 194.3m	既設下水路全線防護の超高圧地盤改良 既設下水路全線基礎部の松杭切断除去

会員紹介

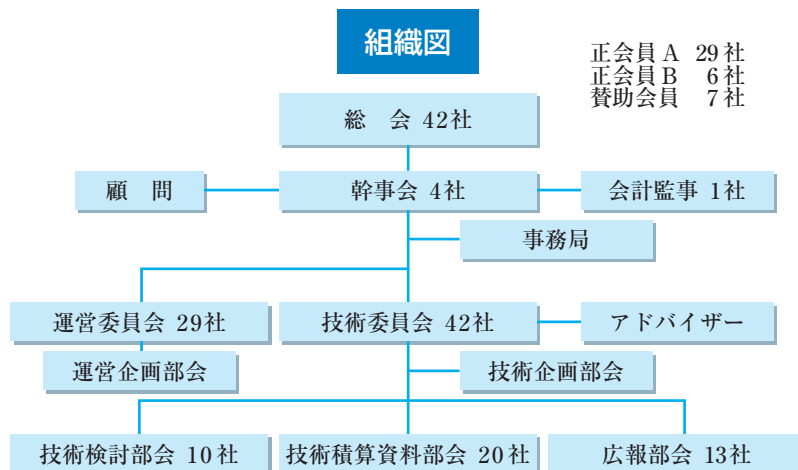
平成19年3月31日現在

正会員 A		15	株式会社竹中土木	正会員 B	
1	株式会社大林組	16	鉄建建設株式会社	1	株式会社アンカーコーポレーション
2	株式会社大本組	17	東亜建設工業株式会社	2	大阪テック建設株式会社
3	株式会社奥村組	18	東急建設株式会社	3	鹿島道路株式会社
4	鹿島建設株式会社	19	東洋建設株式会社	4	興亜土木株式会社
5	株式会社熊谷組	20	戸田建設株式会社	5	荘立工業株式会社
6	株式会社鴻池組	21	飛鳥建設株式会社	6	中黒建設株式会社
7	五洋建設株式会社	22	西松建設株式会社	賛助会員	
8	佐伯建設工業株式会社	23	日本国土開発株式会社	1	石川島播磨重工業株式会社
9	佐藤工業株式会社	24	株式会社間組	2	株式会社エム・エム・オーダーズ
10	清水建設株式会社	25	株式会社ピーエス三菱	3	カジマメカトロエンジニアリング株式会社
11	西武建設株式会社	26	株式会社フジタ	4	コクト工機株式会社
12	大成建設株式会社	27	前田建設工業株式会社	5	JFE エンジニアリング株式会社
13	大日本土木株式会社	28	三井住友建設株式会社	6	株式会社スギノマシン
14	大豊建設株式会社	29	みらい建設工業株式会社	7	成和リニューアルワークス株式会社

お知らせ 2007年

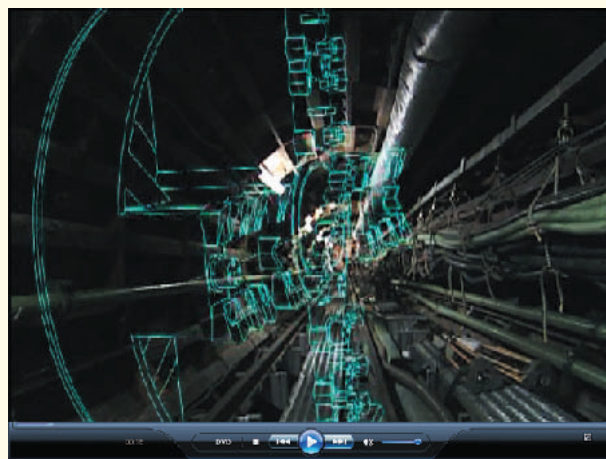
- 7月24～27日 下水道展'07東京に出展
- 7月20日 会報第3号発行
- 7月20日 PR用DVDの制作
- 7月20日 HP更新
- 7月4日 平成19年度定時総会
- 3月19日 現場見学会実施
- 1月15日 会報第2号発行

組織図



DO-Jet工法のPR用DVDを「下水道展'07東京」で初公開

DO-Jet工法を多くの方々に知っていただくために、PR用のDVDを制作しました。7分間程度の短いものですが、コンピュータグラフィックスを使ってDO-Jet工法の機能を動画でお見せするとともに、工法の特長を分かりやすく解説しています。このPR用DVDは7月24～27日の4日間、東京ビックサイトで開催される「下水道展'07東京」の本研究会ブースに設置され、来場者に見ていただきます。ご期待ください。



編集後記 7月4日の第3回定時総会において、大成建設の坂巻明人氏が新しい会長に選任されました。植田政明前会長のこれまでの業績に改めて謝意を表しますとともに、新会長の手腕に大いに期待したいと存じます。当日は国土交通省下水道事業課の津森課長補佐、東京都下水道局の黒住建設部長、東京都下水道サービス(株)の鈴木社長などが来賓として招かれ、ユーモアを交

えながらDO-Jet工法への期待を語ってくれました。その際、東京都が新しい経営計画に基づいて、これまで抑制してきた大規模な幹線工事を伴う浸水対策や再構築事業に手をつけるといった情報も披露され、会員各社の表情に明るさが伺えました。PR用DVDもできましたので、今後は多くの方々にDO-Jet工法を知っていただけるよう広報活動に力を注ぎたいものです。(丑)

DO-Jet工法研究会

発行：広報部会
事務局：〒103-0021
東京都中央区日本橋本石町
3-2-7常盤ビル5F
TEL：03-3278-6778
FAX：03-3278-6708
E-mail：do-jet-k@bridge.ocn.ne.jp